

令和6年度年間授業計画教科保健体育科目体育（女子）

教科：保健体育科目：体育（女子）単位数：2単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：	1・2組 渡邊 早川	3・4組 渡邊 早川	5・6組 渡邊 早川						
使用教科書：	現代高等保健体育								

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育（女子）	の目標：
【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	【思考力、判断力、表現力等】
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 ・ 2 学 期	単元1 テニス	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。	フォアハンド・バックハンド・サーブ	ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘し、科学技術者の資質である分析力を養う。	振り返りシート	自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘し、科学技術者の資質である分析力を養うことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	球技の学習に主体的に取り組もうとすること。		球技の学習に主体的に取り組もうとしている。				
	単元2 水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりする	背泳ぎ	水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりすることができる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、支える、知る」などの生涯にわたって楽しむための関わり方を見付ける	振り返りシート	水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、支える、知る」などの生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる				
1 ・ 2 学 期	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること		水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単元3 バスケットボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶ。	シュート・ドリブル・ゲーム	空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	練習やゲームを行う場で、チームや自己の活動を振り返り、より良い行為について提案すること。	振り返りシート	練習やゲームを行う場で、チームや自己の活動を振り返り、より良い行為について提案している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。		一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。				
	単元4 バドミントン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	シャトルを相手側コートに守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すこと。	ショット、サーブ、ゲーム	シャトルを相手側コートに守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	科学技術者としての視点を持ち、チームや自己の課題を解決するための計画を立てること。	振り返りシート	科学技術者としての視点を持ち、チームや自己の課題を解決するための計画を立てることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。		バドミントンの学習に主体的に取り組むことができる。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和6年度年間授業計画教科保健体育科目体育（女子）

教科：保健体育科目：体育（女子）単位数：2単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：	1・2組 渡邊 早川	3・4組 渡邊 早川	5・6組 渡邊 早川					
使用教科書：	現代高等保健体育							

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育（女子）	の目標：
【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	【思考力、判断力、表現力等】
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元5 陸上競技	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチ切り替えて走る。	長距離走	自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチ切り替えて走ることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	選択した運動について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘し、科学技術者の資質である分析力を養う。	振り返りシート	選択した運動について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘し、科学技術者の資質である分析力を養うことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	陸上競技の学習に主体的に取り組む、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。		陸上競技の学習に主体的に取り組む、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。				
	単元6 体育理論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についてや、怪我や事故などの危険を予見し回避する方法について理解しようとしている。	運動・スポーツの学び方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についてや、怪我や事故などの危険を予見し回避する方法について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして自己や社会についての課題を発見しようとしている。	教科書、ワークシート	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして自己や社会についての課題を発見できる。				
3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体性に取り組もうとしている。	調べ学習	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体性に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単元7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和6年度年間授業計画

保健体育

科目

体育（女子）

教科

保健体育

科目

体育（女子）

単位数

2

単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：	1・2組 渡邊 早川	3・4組 渡邊 早川	5・6組 渡邊 早川						
使用教科書：	現代高等保健体育								

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	体育（女子）	の目標：
【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身に付けようとする。	【思考力、判断力、表現力等】
	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えるという科学技術者としても必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】
		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元9	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単元12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						